

## スカイマークの決算概観

先週発表されたスカイマークの決算について、収益性の高かった H22 年度から、赤字となった H25 年度までの推移を概観した。

(今回はあえて分析を行わず、数値の推移を紹介するにとどめた。)

### 1. 収支実績 (表 1 参照)

- ・ H22⇒H25 に機材は 18→33 機と 8 割を超す増加。
- ・ この間収入は約 1.5 倍になったが、費用は 1.9 倍になり、収益性が低下して赤字となった。

《表1》 収支実績

	機	H23.3	H24.3	H25.3	H26.3	前年比較		H22.3比		2014 予想
						差	率	差	率	
機数(期末)	機	18	26	29	33	4	114	15	183	
		百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	%	百万円	%	百万円
旅客収入		57,207	78,913	84,723	84,971	248	100	27,764	149	
その他収入		817	1,342	1,220	1,004	-216		187		
<b>営業収益</b>		<b>58,024</b>	<b>80,255</b>	<b>85,943</b>	<b>85,975</b>	<b>32</b>	<b>100</b>	<b>27,951</b>	<b>148</b>	<b>104,440</b>
営業費用		46,828	64,972	81,269	88,481	7,212	109	41,653	189	
<b>営業利益</b>		<b>11,196</b>	<b>15,283</b>	<b>4,674</b>	<b>-2,506</b>	<b>-7,180</b>		<b>-13,702</b>		<b>312</b>
(利益率)	(%)	19	19	5	-3	-8		-22		
営業外収支		-227	464	3,417	2,103	-1,314		2,330		
<b>経常利益</b>		<b>10,969</b>	<b>15,747</b>	<b>8,091</b>	<b>-403</b>	<b>-8,494</b>		<b>-11,372</b>		<b>644</b>
<b>当期純利益</b>		<b>2,751</b>	<b>7,705</b>	<b>3,778</b>	<b>-1,845</b>	<b>-5,623</b>		<b>-4,596</b>		<b>354</b>

## 2. 収益性指標 (1) ; 1便当りの収支

- ・ 1便当りの収入は、181万円 (H22) →154万円 (H25) に減少、  
他方で費用は、146万円 (H22) →158万円 (H25) と増加、  
この結果営業利益は、25万円 (H22) →▲4万円 (H25) と大幅に悪化。
- ・ これに対応する便当り旅客数は、139人 (H22) →120人 (H25) と減少、  
収支トントンとなる旅客数は、112人 (H22) →124人 (H25) と上昇したため、  
利益に見合う旅客数は27人 (H22) →▲4人不足 (H25) となった。

《表2》 収益性指標(1) 1便当りの収支

		H23.3	H24.3	H25.3	H26.3	前年比較		H22.3比	
						差	率	差	率
運航便数	便	32,107	46,400	55,574	56,009	435	101	23,902	174
(1日当り)	便	88	127	152	153				
<b>1便当り収入</b>	千円	<b>1,807</b>	<b>1,730</b>	<b>1,546</b>	<b>1,535</b>	<b>-11</b>	<b>99</b>	<b>-272</b>	<b>85</b>
<b>1便当り費用</b>	千円	<b>1,458</b>	<b>1,400</b>	<b>1,462</b>	<b>1,580</b>	<b>117</b>	<b>104</b>	<b>121</b>	<b>108</b>
<b>1便当り営業利益</b>	千円	<b>349</b>	<b>329</b>	<b>84</b>	<b>-45</b>	<b>-129</b>		<b>-393</b>	
平均座席数	席	177	177	177	177				
<b>平均旅客数</b>	人	<b>139</b>	<b>135</b>	<b>121</b>	<b>120</b>	<b>-1</b>		<b>-19</b>	
<b>B/E旅客数</b>	人	<b>112</b>	<b>109</b>	<b>114</b>	<b>124</b>	<b>9</b>		<b>12</b>	
<b>利益旅客数</b>	人	<b>27</b>	<b>26</b>	<b>7</b>	<b>-4</b>	<b>-10</b>		<b>-31</b>	

### 3. 収益性指標 (2) ; 旅客単価、座席コスト、搭乗率、B/E

- ・ 旅客単価は 12,000 円台でほぼ横這いに推移している。
- ・ 座席コストは、約 8,100 円 (H22) から、一時 7,700 円に低下 (H23) したものの、H25 には 8,800 円まで上昇した。
- ・ 座席コストが上昇したため採算ライン (B/E) が 63% (H22) →70% (H25) と悪化した。
- ・ 反面、搭乗率が、78% (H22) →68% (H25) と大幅に低下した。
- ・ B/E の上昇と、搭乗率の低下によって、収益性の低下となったもの。

《表3》収益性指標(2) 旅客単価、座席コスト、搭乗率、B/E

		H23.3				前年比較		H22.3比	
		H23.3	H24.3	H25.3	H26.3	差	率	差	率
座席数	千席	5,682	8,213	9,837	9,914	77	101	4,232	174
旅客数	千人	4,456	6,259	6,729	6,724	-5	100	2,268	151
<b>搭乗率</b>	%	<b>78.4</b>	<b>76.2</b>	<b>68.4</b>	<b>67.8</b>	<b>-0.6</b>		<b>-10.6</b>	
<b>旅客当り収入</b>	円	<b>12,840</b>	<b>12,608</b>	<b>12,591</b>	<b>12,637</b>	<b>46</b>	100	<b>-202</b>	98
<b>座席当りコスト</b>	円	<b>8,098</b>	<b>7,748</b>	<b>8,138</b>	<b>8,824</b>	<b>686</b>	108	<b>726</b>	109
<b>B/E</b>	%	<b>63.1</b>	<b>61.4</b>	<b>64.6</b>	<b>69.8</b>	<b>5.2</b>		<b>6.8</b>	

#### 4. 収益性指標 (3) ; 座席コストの内訳

- ・ 座席コストの上昇は、燃油費と、機材費・整備費の影響が大きい。
- ・ 燃油費は、燃油単価の高騰（含円安の影響）によるものであり、  
機材費・整備費は、機数増（稼働低下）や新機材費用の前倒し、円安などが絡んで  
いると考えられる。

《表4》収益性指標(3) 座席コストの内訳

		座席コストの内訳				前年比較		H22.3比	
		H23.3	H24.3	H25.3	H26.3	差	率	差	率
燃油費	円	2,215	2,263	2,430	2,717	287	112	502	123
空港使用料	円	972	929	891	886	-5	99	-86	91
機材費	円	1,220	1,073	1,198	1,630	432	136	410	134
整備費	円	783	806	901	1,081	180	120	298	138
人件費	円	1,526	1,461	1,395	1,286	-109	92	-240	84
その他費用	円	1,525	1,379	1,447	1,325	-122	92	-200	87
▲附帯等収入	円	-144	-163	-124	-101	23	81	43	70
<b>座席コスト</b>	円	<b>8,097</b>	<b>7,748</b>	<b>8,138</b>	<b>8,824</b>	<b>686</b>	<b>108</b>	<b>727</b>	<b>109</b>

## 5. 路線の構成内訳

- ・ 積極的な路線拡大によって、主要4大路線（羽田＝福岡、札幌、神戸、沖縄）の構成割合は約6割（H22）→約4割（H25）となった。
- ・ 主要4大路線の搭乗率は依然80%超と高いものの、H22の90%からは大幅に低下した。
- ・ その他の路線の搭乗率は、60%程度でほぼ横這い。
- ・ 搭乗率の低い「その他路線」が増えたことで、全社平均搭乗率の低下に繋がった。

《表5》路線の構成内訳

			H23.3				前年比較		H22.3比	
			H23.3	H24.3	H25.3	H26.3	差	率	差	率
《4大路線》										
座席数	千席		3,510	3,571	3,558	3,718	160	104	208	106
旅客数	千人		3,153	3,206	3,001	3,012	11	100	-141	96
搭乗率	%		89.8	89.8	84.4	81.0	-3.4	96	-8.8	
(構成比)	%		62	43	36	38	2		-24	
《他路線》										
座席数	千席		2,172	4,641	6,279	6,195	-84	99	4,023	285
旅客数	千人		1,303	3,053	3,728	3,711	-17	100	2,408	285
搭乗率	%		60.0	65.8	59.4	59.9	0.5	101	-0.1	
(構成比)	%		38	57	64	62	-2		24	

## 6. 貸借対照表の内訳

- ・ 建設仮勘定（機材前払金）や敷金保証金（リース機等）が大幅に増加、他方現預金は減少。
- ・ 負債では、整備引当金と前受収入（販売期間の前倒し延長）が増加。
- ・ H23の増資の効果で純資産も増加。

《表6》貸借対照表の内訳

	H23.3	H24.3	H25.3	H26.3	前年比較	H22.3比
					差	差
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
現預金	16,413	30,648	23,155	7,065	-16,090	-9,348
営業未収入金	2,832	4,118	4,250	4,895	645	2,063
航空機材	938	2,028	2,436	3,110	674	2,172
建設仮勘定	2,465	10,909	17,248	26,440	9,192	23,975
他有形固定資産	3,964	4,760	4,358	7,621	3,263	3,657
敷金保証金等	7,560	11,013	18,370	19,756	1,386	12,196
その他	3,185	4,260	4,413	9,884	5,471	6,699
<b>資産合計</b>	<b>37,357</b>	<b>67,737</b>	<b>74,230</b>	<b>78,771</b>	<b>4,541</b>	<b>41,414</b>
営業未払金	2,163	2,681	3,013	2,919	-94	756
前受収入	3,335	4,737	4,099	7,373	3,274	4,038
未払税金	6,355	4,972	2,153		-2,153	-6,355
整備引当金	5,240	8,916	14,870	18,757	3,887	13,517
リース債務	851	808	811	2,531	1,720	1,680
その他	2,054	2,740	2,460	2,502	42	448
<b>負債合計</b>	<b>19,998</b>	<b>24,854</b>	<b>27,406</b>	<b>34,082</b>	<b>6,676</b>	<b>14,084</b>
資本金+資剰	9,038	27,474	27,487	27,495	8	18,457
利益剰余金	8,258	15,259	19,037	16,827	-2,210	8,569
新株予約権等	64	150	300	367	67	303
<b>純資産合計</b>	<b>17,360</b>	<b>42,883</b>	<b>46,824</b>	<b>44,689</b>	<b>-2,135</b>	<b>27,329</b>

以上